



12 月の展示情報

国内外のアーティストの展示が目白押し！
芸術の秋はまだまだ終わらない。

全戸配布

2025
12 月号まもなく終了
～12/5(金)4 人のアーティストによる 滞在制作作品展
神聖幾何学と天使

映像や現代美術分野で活動する 4 人のアーティスト（上平晃代／平山好哉／三野綾子／吉田有徳）による滞在制作作品展。昨年秋より、長期に渡り西会津と関東を行き来しながら、製作を続けてきました。



本展示は、土地固有の地形、地質 (Geo)、観測できる星 (Meteo) や自然をリサーチし、それらを神聖幾何学的なアプローチによって表現し、概念的天使として表象、作品化する試みです。私たちの日常や人生そのものに新たな視点を加え、現実の見方に変化を与えようとする作品です。

11/15(土)
～Kamran Samimi
滞在制作作品展

今年 5 月に 1 か月間の滞在制作を行った Kamran Samimi さんによる作品展。自然の声に耳を傾け、石との対話を重ねる中で生まれた作品たちです。

Kamran さんは 11 月 6 日に再び来町し、それらの作品を展示として設営を行いました。

「地域の歴史に根ざしながら、この作品群は人間以外の生命の持続的な存在と、人の営みにかかわらず流れ続ける、ゆるやかで忍耐強いリズムに敬意を捧げます。」

という Kamran さんのメッセージには、西会津で過ごした時間の深さを感じます。

石や木々の声まで聞こえてきそうな作品を、ぜひご覧ください。



芸術村での製作風景

開催中
～3月中旬
(予定)Laura Prochowski
Alisha Redmond
滞在制作作品展

Laura Prochowski

オーストラリアから 2 人のアーティストが約 3 週間、滞在します。抽象風景画・油彩画家である Laura さん、現代クラシック作曲家、ピアニストである Alisha さんによる「自然の共鳴を探る学際的なコラボレーション『LAND MINDS』と名付けられたプロジェクトは西会津町の風土を知り、地元との交流を通して二人の芸術的意見とレジデンスの場所の物語の両方を反映した、場所固有の作品を制作するというものです。西会津での滞在で何を感じ、どのような作品を表現するのか、とても楽しみです。



開催中

～12/19(金)

フォトスタジオ「スズトヨ写真展」

昭和 21 年創業、フォトスタジオスズトヨさんによる写真展が、リクエストの声により、秋の写真展を開催しています。雪国の秋は短いですが、その美しい瞬間を記録した作品の数々をぜひご覧ください。

会場：にぎわい番所ぶらっと
(旧野口燃料)

年末恒例

12 月 26 日 (金)
10:00～米ぬかで床みがき
ワークショップ

今年も開催！年の瀬恒例の米ぬかによるワックスがけを行います。新郷中学校時代からの伝統、米ぬかを使った床みがきを体験してみませんか？

香ばしい米ぬかの香りを楽しみながら、一年の感謝を込めて足元をピカピカに！



*参加希望の方は当日、動きやすい服装でお越しください。

12 月の休館日

定例休館日(月)(火)

年末年始のお休みは別途、ご案内をご覧ください。

1 (月)、2 (火)

8 (月)、9 (火)

15 (月)、16 (火)

22 (月)、23 (火)

開館時間：10:00-17:00

入館料：町民無料

*町外の方
大人 300 円 / 小人 100 円
未就学児は無料年末年始
休館日

12 月 26 日 (金)

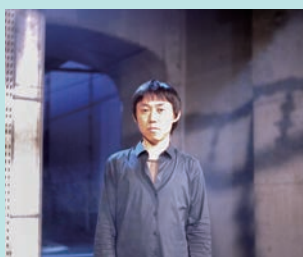
～1 月 7 日 (水)



吉田有徳

神奈川県在住
分野：現代美術

三野綾子

東京都在住
分野：現代美術

平山好哉

神奈川県在住
分野：現代美術

上平晃代

東京都在住
分野：映像、メディアアートの会」が開かれました。
トークセッションでは、西会津での印象的な霧の風景や熊の目撃体験など、普段、関東地域で暮らしながら、何度も西会津に通い、二つの対局とも言える世界を行き来する中での体験／体感が語られました。
後半、交流会では、焼きたてのフランスパンなど、アーティスト自ら作った軽食が振る舞われ、町内外からの参加者を交え、和やかな会となりました。

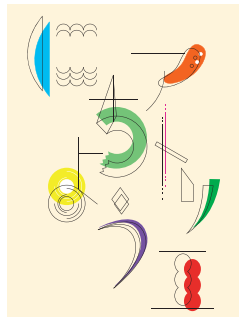
トークセッションの様子

開催報告

「神聖幾何学と天使」
オープニングイベント
天使を探す午後の会

4 人のアーティストによる滞在制作展示「神聖幾何学と天使」のスタートに合わせ、オープニングイベント「天使を探す午後





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



月明かりに照らされた大きな黒い鳥が飛んでいました。80 年前の記憶を辿りながら描いた絵です。』とのこと。説明を知ると「なるほど」と納得があります。が、知らずとも説得力がある大迫力の一点です。

10 月、11 月と、いつものアトリエの時間を紡ぐことができず寂しい思いをしています。そんな折、西会津中学校 3 年生、西会津小学校 6 年生と 5 年生が、公募展の鑑賞に来てくれました。アトリエによく顔を出してくれる生徒さんもう嬉しくなります。

さて、鑑賞には多数の作品を観るため、生徒たちの集中力が必要。後半、少し疲れた頃に、中 3・小 5 にはクイズを出してみました。公募展では応募の際、作品の背景や思いを記入をしていたのですが、通常は観客にはお見せしません。そのため画面から自分なりに汲み取って解釈する必要がありますが、実は思いもよらないコンセプトが隠れていたりします。

ちなみに左の作品がクイズに取り上げた一点です。作品説明は『空襲で逃げた防空壕を出た時、目の前に牛が倒れていました。見上げると真っ赤に燃える山の上に、

にちようアトリエ12月予定表

12 月は西会津町内お二人の講師をお招きして開催します。いつもと違い、大人の方にもお楽しみいただける内容ですので、ぜひご参加お待ちしております！

12/6 「もとじさんと作るヒロロのお正月飾り」

西会津町奥川の、自然をこよなく愛する片岡元次さんと、楽しくてわっさの時間！野山で採れるヒロロは、細くしなやかな植物で、出来上がりはとても繊細なイメージとなります。ヒロロで縄ないをしたのち、他の飾りを加えてお正月飾りに仕上げていきます。

◆日時：12 月 6 日（土）10:00-12:00 ※土曜午前開催です！
◆対象：大人も子供も！ ◆参加費：ひとり 1500 円
◆申込：芸術村 0241(47)3200 にお電話いただくか、
<https://forms.gle/EsCDRL6C9c15fUpk8> →→→
◆内容：夏休みの宿題として提出できる平面作品を制作予定
◆服装：服装／床に座っての作業なのでズボンで、汚れてもいい服装。



12/21 「わかなさんと作る 2026 年の年賀状」

西会津町をはじめ、福島県内の風景を繊細な色使いで描くわかなさんとの、穏やかな時間！今回は絵の具の使い方をメインとするため、下絵をこちらでご用意します。出来上がった作品はこちらでデータ化＆お渡しし、原画はお持ち帰りです！

◆日時：12 月 21 日（日）13:30-15:00
◆対象：大人も子供も！ ◆参加費：ひとり 1500 円
◆申込：芸術村 0241(47)3200 にお電話いただくか、
<https://forms.gle/gFVwwS5pb4mXYsyX9> →→→
◆服装：汚れてもいい格好。水彩絵の具を使います。
◆持ち物：USB もしくは SD カード（ない場合はデータはメールでお渡し）



スタッフおすすめ 今月の本

ゴリラからの警告

「人間社会ここがおかしい」
著：山極寿一 発行：毎日新聞出版



この本は、「じぶんカフェ」にて、お読みいただけます。

芸術村スタッフがオススメの本をご紹介します。

霊長類を研究する人類学者がゴリラの研究を通じて人間社会を見た大変示唆に富んだ内容。

人間は毛皮も持たず、脳が大きく、成長に時間がかかるため、人と人が繋がることで助け合い、関係性の中で生きることにより守られてきました。情報や技術の進化により、またコロナ禍以降さらに、人は人から離れているように感じる、最近の人間社会。

この本は 2018 年に書かれた本なのですが、本書の中で、ぼっち飯／建売住宅が人をサルにするというくだりは、それを予言する言葉のように感じました。これからの共同体のあり方を考えるのにおすすめの一冊です。



先日、端村にある「冒険キャンプ場ハムラ」で染色のワークショップを行いました。参加者は 10 名、杉木立の気持ちのいい森で、焚き火で煮出して草木染め。今回は茜という染料を使い。腹巻きや T シャツなどこれから寒くなる季節に備えて、見た目にもあたたかい赤い色に染まりました。

森での活動だったので、熊対策として焚き火と音楽が用意され、煙に燻されながら、森に音楽が流れて、とても楽しいひとときでした。

野外活動には慎重になってしまう近頃の野生動物事情。情報収集と安全対策をしっかりと行いながら、できるといいなと思いました。



インスタ日記



11/8 に開催された、展示「神聖幾何学と天使」のオープニングイベント「天使を探す午後の会」。

当日、アーティストの 1 人吉田さんがフランスパンを生地から手作りで焼いてくれました。準備中には、館内にパンのいい香りが広がり、なん

とも幸せな気分。パンを焼くオーブンは電気とガスでは焼き上がりが違うそうで、その違いも興味深かったです。外はパリパリ、中はしっとりのフランスパン、美味しくいただきました。

【HP】 【Instagram】 【Facebook】 【YouTube】



マワリテメクハ *季節の薬膳ノート* 「黒キクラゲ」 腎を補う黒い食材

これから寒くなる季節におすすめの黒い食材。薬膳では、黒い食材は腎を補う食材とされています。腎は寒さに弱く、腎が弱ると体内のめぐりが低下したり、気力の減退などが起こります。そこで心強いのが黒豆、黒胡麻、黒キクラゲ、海藻類などの黒い食材です。西会津でもつくっている黒キクラゲ。血を補い、体内の水分バランスを整えます。



黒キクラゲのスープ

【材料】2人前

黒キクラゲ 2 枚／鳥ガラスープの素 大さじ 1.5／長ねぎ 1/4 本
水 400cc／醤油 小さじ 2／卵 1 個／塩・コショウ 少々

「つくりかた」

1、キクラゲは、石づきをとって千切りにする
2、水と鶏ガラスープを火にかけ沸騰したら、卵を溶きいれて、ふんわりとしたら調味料を入れて完成。

*春雨やクコの実などをいれても美味です。

